

令和6年度長野県辰野高等学校 学校評議員 学校評価（最終）

I. 今年度の重点目標について

学校評議員7名（回答6名）

A：十分な成果があがっている B：概ね成果が上がっている C：努力している D：不十分 E：判断できない

		A	B	C	D	E	成果に関する評価・課題や改善策に関する提言
1	基本的な生活習慣を身につけ、社会や学校のルールやマナーを守って生活する意識の向上を図る	0	4	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・校外での生徒の姿は、比較的良好、礼儀正しい、挨拶ができる生徒が多い。社会が変化し、価値観が多様化し生徒の意識も年々様変わりしてきている現実をいかに受け止めて生徒指導をしていくかが課題、厳しい指導だけでは時代に逆行です。 ・学校で参観させていただいたり、本校へ来校される高校生の方々の様子から地域とのつながりのなかで社会で大切にされているルールやマナーを学び、身につけていっているのと感じます。この方向を継続していただきたいです。 ・生徒自ら校則の意味を理解し守る体制づくりを取り入れてはどうか。 ・以前より、社会のルールを理解してきていると思います。自分で選んでこの高校に入学したのだから、ルールを守る事は最低限必要なことです。が、大人振りしたい年頃でもあり、反抗期も混じり、本当に難しい時期です。根気よく話を聞くことが大切だと思います。 ・井の中の蛙にならないよう、社会ともっと交わる必要性を感じます。
		0%	67%	33%	0%	0%	
2	落ち着いて学習に取り組める環境を大切に、生徒と教員が共に授業改善に取り組み、基礎学力の向上を図る	0	5	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活を送っていると様々な生徒がいる。全員が一つの方向に向くことは不可能であるが、学習面、コース制の成果、部活動の取り組み等みていると努力していると実感する。授業改善は先生方にとって最も難しい課題、しかし数年前と比較すると先生方の姿勢が大きく変化してきている。 ・学ぶことに対して前向きになっていく生徒を育成していただいていることをありがたく思います。進学や就職について、自分の目標となっているのでそのように取り組めるのだと思います。 ・主体的な学習意欲の向上を図る方法の検討 ・家庭学習が短いことに驚いた。時間制限がある中、大変だと思うが時間外に希望者を集めての学習はどうでしょうか？自分の夢をかなえるためには必要です。 ・基礎学力向上のために、ドリル学習も大切な気がします。
		0%	83%	0%	0%	17%	
3	進路意識の向上を図り、希望進路の実現を目指す	1	3	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育は義務教育の段階からしっかり取り組まなければならない大きなテーマである。小・中学校段階で職業観、働く意味、進学する意味等郷土愛の心の醸成と共に行っておく必要性を改めて感じている。 ・地域や社会とのつながりの中で、学びや活動を続けていくと、きっと自分の色々な面がわかってきて将来どのように活躍していきたいと思うのか考えを深めていけるのだと思います。 ・志望校ごとの攻略法を示すとともに面談や補習等をおし生徒のモチベーションを図れる指導を。 ・先輩の体験談を直接聞いたり、就職体験をする事で自分の将来像を考える機会が増えてくると思う。自分がなりたい姿をえがく事で、学力にもつながると思う。 ・自分の将来の夢を実現する努力を、語る時間(機会)が必要なのか。
		17%	50%	33%	0%	0%	
4	保護者・地域と学校との関わりを大切さを理解し、生徒会活動、三者協議会、部活動などの諸活動に積極的に参加できる生徒を育てる	2	4	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員と部活動のリーダー等は実に立派。学校や地域のこと、自分たちのやるべきことを理解し取り組んでいる。また周囲の生徒にも徐々に広がっていると思う。活動を通して自己有用感・自己肯定感を高めていきたい。 ・先日、信毎でも辰高の取り組みが賞賛されていましたが、自らのエネルギーを発揮し、自らの考えを発信すること、そしてその結果、実際に物事が進んでいくことを身をもって感じている。すばらしい営みだと思います。 ・町のイベントに積極的に参加しているように見受けられます。部活動については、生徒数も減少し、なかなか存続する事自体難しいと思います。が、仲間作り先輩・後輩との関係など築く大切なものだと感じています。 ・辰高フォーラムにおいて「総合的な探究の時間」の発表が心に残りました。着実に表現力が増している気がした。積極的な部活動を期待します。
		33%	67%	0%	0%	0%	
5	互いの人格を尊重し協調性を育み、いじめのない学校作りを目指す	0	5	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活を行っている以上、トラブルは当たり前で、トラブルのない学校が良い学校だとは思いません。いじめも当然起こる。良い学校とは、いじめやトラブルが発生した際、先生方、生徒たちが自分事として考え対応し、解決できる学校である。笑顔あふれる学校はよい学校。 ・様々な面で、人間関係を築いていくのが難しい時代となっており、生徒も大変だと思いますが、だからこそ相手の立場に自分を置いてみたり、他の角度から考えることで、人の気持ちや痛みを受けとめることができる取り組みを続けられていると思います。 ・「いじめ」は、社会に出てからも多少なりともあるもので、無にはならないと思います。いじめる方に問題はありますが、いじめられている生徒へのフォローが必要です。どこかに逃げ道を作れたらと思いますか？ ・優しい、思いやりのある生徒が多い。
		0%	83%	17%	0%	0%	

II. 学校の諸活動や運営について

学校評議員7名(回答6名)

1: そう思う 2: ややそう思う 3: あまりそう思わない 4: そう思わない

		1	2	3	4	コメント
1	辰野高校についての説明はわかりやすかった。	6	0	0	0	
		100%	0%	0%	0%	
2	学校目標の設定は適切である。	5	1	0	0	
		83%	17%	0%	0%	
3	辰野高校のPR・広報活動は十分に行われている。	4	2	0	0	
		67%	33%	0%	0%	
4	学校は清掃が行き届き、学習環境が整っている。	0	2	0	0	
		0%	33%	0%	0%	
5	生徒は意欲的に学習活動に取り組んでいる。	2	4	0	0	生徒の動きが素晴らしい。フォーラムは発表する良い機会。継続していただきたい。
		33%	67%	0%	0%	
6	教員は生徒の指導に熱心に取り組んでいる。	5	1	0	0	初めて参加させていただきましたが、今の高校生は大人びて立派だと感じました。教師と生徒の関係の良さも感じました。ありがとうございました。
		83%	17%	0%	0%	
7	生徒は社会や学校のルールを守って生活している。	0	6	0	0	
		0%	100%	0%	0%	
8	辰野高校は地域に根ざした活動を行っている。	6	0	0	0	
		100%	0%	0%	0%	